

5 校舎建設情報

一般財団法人川崎市まちづくり公社で機械設備を担当している丸山職員にお話を伺いました。



Q はじめに、学校の機械設備とはどのようなものがあるのか教えてください。また特徴的な設備はありますか。

A エアコンや換気扇など部屋の空調を行う設備と、給水・給湯設備やトイレ・厨房の器具など水廻りに関連する設備があります。大きく分けると、“空気”の設備と“水”の設備です。この小学校は、エアコンを教室だけでなくオープンスペースといて、廊下でありながら教室と一体で利用できるスペースもあるので効率的に空調設備を配置しています。また、雨水をろ過する装置を設置し、トイレの水に利用して節水を図っています。



Q 防災に配慮した計画をされていると伺いました。

A 災害時にも水道、ガス、トイレ等を使えるように計画しています。水道は、耐震管という地震に強い水道本管につながった災害専用の水栓を設置しています。ガスは家庭科室のコンロの一部にプロパンガスを使用し、都市ガスが止まった際にも炊事を行うことができます。また、“マンホールトイレ”と呼ばれる災害時トイレも計画していて、断水した場合の排水には屋上プール水を使用します。



Q 意気込みをお願いします。

A 蛇口をひねると水が出て、スイッチを入れると冷房・暖房ができるということは当たり前のことのように思われていますが、実は細かい計算やどこに管を通すかなどたくさんの検討をしています。この当たり前ごとを実現するために、さらに工夫を重ねより良い環境を作っていきたいと思えます。工事は建物の形が見え始め、設備工事もいよいよ本格的になってきました。12月の完成に向けて、地元設備業者と一丸となって頑張っていきます！



6 工事現場仮囲いが華やかに！

西丸子小学校、今井小学校、上丸子小学校の4年生と中原中学校の1年生に御協力いただきまして、小杉小学校の工事現場仮囲いにメッセージアートが貼ってあります(施工業者：大山・野州共同企業体の地域貢献活動として実施)ので、お近くを通った際には、是非、ご覧ください。



今後のニュースについて

これまで新設小学校の進捗状況について本号を含めて7回発行してきました新設小学校ニュースですが、このような紙面でお伝えるのは今回が最後となりました。来年度からは教育方針などのソフト面を中心に新設校の情報をお伝えします。

お問い合わせ先

川崎市教育委員会事務局 教育環境整備推進室 学校整備プロジェクト推進担当

御意見や御質問については、Eメール又はFAXにてお願いいたします。

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6

電話：044(200)3319 FAX：044(200)3679 Eメール：88seibi@city.kawasaki.jp

会議での資料、これまでの検討経過等を含め、新設校に関する内容についてはホームページからも御覧になれます。
<http://www.city.kawasaki.jp/880/page/000080750.html>

小杉駅周辺地区新設小学校ニュース

第6号(平成30年3月)

今回のニュースでは、これまで検討を進めてきました通学路素案を中心にお知らせいたします。

1 学校名は「小杉小学校」に決定！

ニュース第5号でお伝えしました新設小学校の名称は「小杉小学校」に決定しました。

平成20年に開校したはるひ野小学校(麻生区)以来、市内114校目の小学校として平成31年4月から新たに仲間入りますので、よろしくお祈りします。

2 開校準備担当を設置します。

開校まで約1年となり、4月から教育委員会事務局に「小杉小学校開校準備担当」が設置されることになりました。1年をかけて教育方針、学校教育目標の検討・決定、就学意向調査、児童数の確定など、開校に向けた準備を進めていきます。

3 検討会議を開催しました。

平成28年10月から実施してきた検討会議ですが、3月27日に最後の会議を実施しました。会議では通学路素案(次頁)について提案し、委員の皆様にご意見を伺いました。

また、委員の皆様から新設小学校へのメッセージをいただきましたので、紹介します。

通学区域(案まとめ)後から参加させていただきました。正直、もっと早い時期から参加したかったという思いがありますが、引き続き、小杉小学校に通う児童が安全面(通学路)、メンタル面でも不安なく通えるように意見をあげられたらと思っています。

小杉小学校に通う子どもたちが安全に、そして安心して学校生活を送れるよう、会議にて検討を重ねてきました。小杉小学校が子どもたちの楽しそうな明るい声で溢れ、また、地域の様々な活動の拠点となるよう期待しています。

校舎のスタイルはもとより、地域間の連携や交流、災害時の利用にも配慮した期待される小学校です。以前から学校教育に興味があり、今回委員を務めさせていただきました。微力ながら、その設立に関わって光栄です。

委員として議論させていただき、新設小学校が新しい武蔵小杉を象徴し、先生・子供たちと一緒に学校・授業・文化を作り上げていくな、たくましく、笑顔溢れ夢をもった子供たちの学び舎になることを期待しております。

未来を生きる子ども達が、沢山の人と出会い、沢山の経験と学び、そして想い出詰まる母校になる地域の小学校設立に携われて、大変光栄です。多くの方に愛される素敵な小学校として誕生し、多くの方の手によって育てられることを願います。

地域開発で新設校となり、通学区域の通学路は大きな道路や鉄道をまたいで登下校する子どもたちもいます。子どもたちみんなが新しいきれいな学校に安全に通えるように、そして笑顔がたくさん見られるといいですね！

昨年より委員を務めさせていただいていただきました。現状では通学路に関して課題があり、解決に向けた取り組みを進めていただいています。引き続き、新設校で学ぶ子どもたちの笑顔のために微力ながらお手伝いできたらと思っています。

地元の新設小学校設立時に委員として、通学区域や通学路等を地元の意見も述べて検討を進められたことを嬉しく思います。新設校は避難場所やボランティア活動等、地域活動の拠点的な役割も担うことが出来る施設にもなっており、来春の開校が待ち遠しく感じられます。

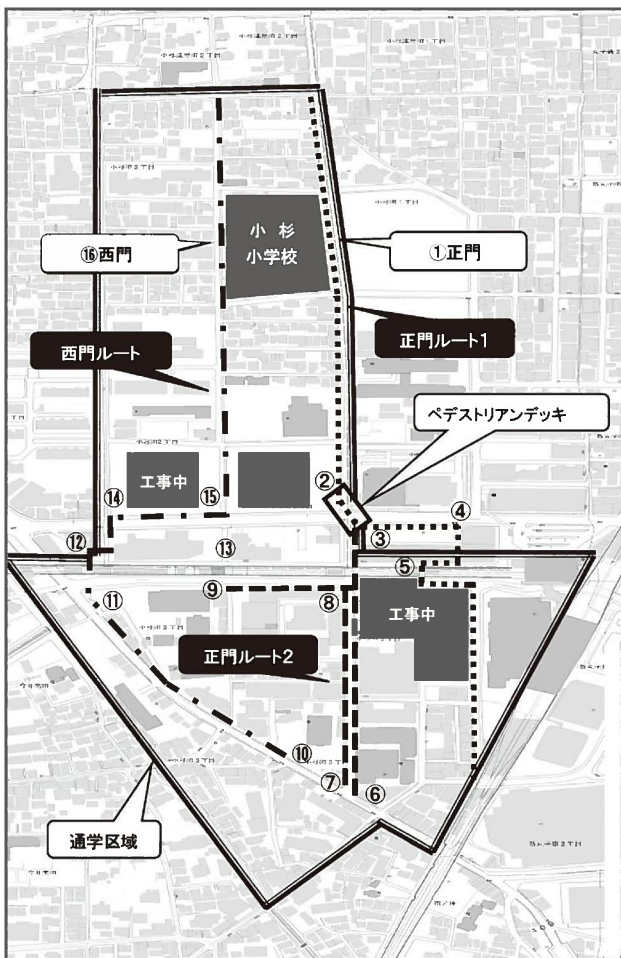
小杉地区に新しい小学校が出来ることになり、議論を重ね校名や通学区域を決定しました。小杉町3丁目の通学区域は新設校、今井小、東住吉小となり課題もありますが、新設校が素晴らしい学校となるように地域も見守っていきます。

4 通学路素案を作成しました。

これまで保護者の皆様にご協力いただきました現地確認や意見交換、アンケート、検討会議でのご意見をふまえて、通学路素案を作成しました。

この素案を基に、来年度、通学路(案)をまとめます。

※本素案はニュース掲載用です。完全版はHPIに掲載しています。



通学路素案の基本的な考え方

この素案は、小学校開時点の想定される通学路の考え方、ルート等を示したものであり、開校後も通学区域内の大規模開発工事の進捗状況を十分に踏まえながら、通学路を指定する。

重点事項

- 現在の小学校(西丸子小学校・今井小学校)が指定している通学路を可能な限り活用する。
- 南武沿線道路、府中街道の幹線道路、JR南武線高架下における通勤・通学時間帯の状況等を十分に踏まえ、関係機関と協議しながら必要な対策を検討する。
- 歩道が整備されていない、人目が少ない等の道路は可能な限り避けるものとする。

これまでの検討経過

- 想定される通学ルート案を作成し、保護者等との現地確認、意見交換、アンケートの実施
- 対象小学校PTA・町内会等の代表者で構成する「通学区域等検討会議」にて意見聴取
- 学校や警察、関係局等で構成する「通学路安全対策会議中原区部会」にて、通学時の安全に関する検討の実施
- JR南武線高架下(⑧付近)から小杉町交差点(②③付近)にかけての道路の交通量調査の実施

ルート	概要	説明
正門ルート1 (●●●●●)	小杉町3丁目駅前 エリアからのルート	・⑤JR高架下を通過後、④方向に迂回し、②③ペDESTリアンデッキを使用後、西側の歩道を通行して①正門から進入する。
正門ルート2 (———)	小杉町3丁目 南側エリアから 正門ルート1に つなぐルート	・⑥中原郵便局側のエリアからは、東側の歩道を通行する。 ・⑦中原警察署側のエリアからは、西側の歩道を通行し、⑧横断歩道を東側に横断する。 ・⑨エリアからは、南側の歩道を通行し、⑧横断歩道を東側に横断する。 ・⑥横断歩道を横断後は、東側の歩道を通行し、②③ペDESTリアンデッキを使用後、西側の歩道を通行して①正門から進入する。
西門ルート (— — —)	小杉町3丁目 西側エリア からのルート	・⑩府中街道沿い北側の歩道を通行し、①中原区役所前交差点を横断する。⑫JR高架下を通過後に⑭交差点に向かう。 ・⑬エリアからは、南武沿線道路南側の歩道を通行し、⑭交差点に向かう。 ・⑭横断歩道を横断後、右折し、⑮からは東側の歩道を通行して西門から進入する。